令和4年度
榛原中だより
12月号　令和4年 12月19日（月）
（http://www.haibara-jh.ed.city.uda.nara.jp/index.html）

本年度の重点
『一人一人が活躍でき誇れる榛原中』
～目標をもち主体的に生きる生徒の育成～

（文責 ： 山　本）

1年の締めくくりを

12月23日（金）で新型コロナウィルスの感染症対策を行いながら2学期も終了です。2022（令和4）年も終わりに近づいてきました。今学期は、どんな学期でしたか？

今学期も、感染症対策を可能な限り行って、行事を実施してきました。8月下旬の3年生修学旅行。夏の終わりの暑い時期でしたが、無事実施できたことに生徒たちの「良かった」という安堵の表情がうかがえました。特に、アドベンチャーワールドでの愛くるしい『パンダ』の表情は記憶に新しいところです。

9月下旬の体育大会。開会式や閉会式は、自席からの参加形式をとり、密になることに配慮した形式での体育大会となりました。若さ溢（あふ）れる脚力、跳躍力そして団結力に、感動と勇気をもらいました。

10月初旬の文化祭。1年生の総合学習で取り組んだ「SDGsについての調べ学習」、2年生「職業調べ」、3年生「修学旅行新聞」、あすなろ学級の「あすなろ展」など日頃の学習の成果を披露した展示があり、合唱コンクール等は場所を総合体育館へ移動しての実施となりました。文化部部活動の皆さんも日頃の取り組みを発表してくれました。もちろん、各クラスの歌声もすばらしいものでした。このように、感染症対策を施して、2学期の学校行事を実施できたことを喜び合いたいと思います。また、実施にあたり、実行委員や担当の先生方の準備を始め、総合体育館の職員の皆さんや関係各位の人々に感謝の気持ちを込めて、お礼をいいたいと思います。

さて、皆さんにとって、今年を象徴する漢字1文字は何ですか？今年は『戦』が選ばれました。ロシアのウクライナ侵攻が象徴的な出来事で、今なお戦争は続いています。私は『終』だと思っています。それは、希望的な意味を込めて、新型コロナウィルスの終わり＝収束とロシアのウクライナ侵攻の終結を願うばかりです。

今年も残りわずかとなりました。来年はどんな年にしたいですか。自分の学習状況を振り返ってみてください。2学期と共に1年を振り返り、来年に向けて目標をたてましょう。

****

あすなろ学級・小中交流会(11/29)

11月29日（火）午後、あすなろ学級の生徒が、来年度本校に入学予定の支援学級の小学生と交流を行いました。現在各小学校6年生の支援学級生が初めて中学校を訪問しました。最初中学生が教科や部活動のこと等学校生活について紹介しました。次に、「あすなろ商店」での買い物体験を行いました。当日は、中学生も小学生も緊張していましたが、活動を始めるとすぐに仲良くなりました。

今年度2回目　花いっぱいの花壇に!!

10月13日（木）に夏に伸びた草を引き抜く作業を、11月15日（火）に花壇の花抜き作業を行いました。期末テストを直前に控え、環境委員や級長の人たちを中心に、それぞれ新たな花を植える準備を行いました。

11月25日（金）花植えをするために耕された花壇に、ナデシコ・ビオラ・アリッサムなどの花の植え付け作業を行いました。少しさびしかった花壇には、色とりどりの花が植えられ、寒い冬を迎える前に温かい気持ちになりました。

～生徒会で「心境荘苑」に花いっぱいのプランター寄贈～

12月2日（金）生徒会本部役員で社会福祉施設「心境荘苑」へ11月25日に植えた花いっぱいのプランター5つを持っていきました。当日は、職員と入所されている皆さんに出迎えていただき、お礼の言葉をいただきました。大変喜んでいただき、生徒会役員一同ほっこりした気持ちになりました。

****

人権教育講演会(12/14)

12月14日（水）2・3限に人権教育講演会が開かれました。『輝く笑顔とともに』という演題で、NPO法人サンタピアップ代表・古川沙樹さんに講演いただきました。彼女は奈良県出身で、現在カンボジアに在住しておられ、一時帰国で日本に帰ってきたところでした。2009年にカンボジアに渡り、それ以来カンボジアで13年間、子どもの家のスタッフとして働いておられるそうです。特に、カンボジアでは病院や学校が足りてない現状から、子どもの生きる権利を守るために活動を続けておられるということでした。

サンタピアップという言葉は、カンボジアの言葉で「平和」という意味だそうです。

古川沙樹さんのお話からいくつか印象にのこったことを記します。古川沙樹さんは、ボランティアとして関わっていると、「すごいですね」とよく言われる。何もすごいわけではなく、カンボジアの人々の生活を知り、そこから多くのことを学ぶことができた。自分たちの生活で当たり前のことが、必ずしも相手の国（人々）にとって当たり前ではないことがいっぱいある。そのことを体験から学んだ。自分（たち）の感覚だけで相手を推し測ってはいけない。一緒に考えることが大切だと思う。これらは古川沙樹さんがお話しされたことの一部でしたが、とても考えさせられる内容でした。生徒の皆さんもお話を聞いていろいろ考えたと思います。是非、これからの生活に活かしてほしいと思います。

＊＊

《入賞作品の紹介》

＊＊＊

令和4年度　歯と口に関するポスター・標語コンクール

【中学生の部】ポスターの部

優秀賞
2年　笹目　理紗

優秀賞
3年　酒井　蓮峯

標語の部　優秀賞

2年　藤本　樹

中学生の税についての作文

桜井税務署長賞
3年　西村　萌海
『障害者と税』

桜井納税貯蓄組合連合会長賞　金賞
3年　夛田　奈央
『税についての作文』

第11回奈良県「子ども読書活動推進」啓発ポスター

優秀賞
3年　米田　日和

【書道】

第14回全国龍馬コンクール＜書道部門＞
入選　2年　上岡　心結　　作品名　『幕末の志士』

第27回日本教育書道振興会　全国展
特選　2年　上岡　心結
金賞　1年　新　伊織
　　1年　中野　愛惟
銀賞　1年　井谷　早良
　　1年　岸本　芽琉愛

第90回全国書画展覧会
特選　2年　上岡　心結
金賞　3年　楠田　紗希
　　3年　井口　由衣
　　3年　鴻池　美伶
　　3年　髙岡　奏希
　　3年　西村　萌海
　　3年　淡田　愛永
　　3年　粉室　茉奈
　　3年　米田　日和
　　1年　岸本　芽琉愛
　　1年　中野　愛惟
銀賞　3年　山口　夏の歌
　　1年　井谷　早良

吹奏楽部 ミニコンサート

11月2日（水）に宇陀商工会、あかり祭り実行委員会の依頼で、吹奏楽部が出演して「ミニコンサート」が催されました。当日は、榛原総合センターで2曲、椋下神社で2曲演奏をおこないました。椋下神社での演奏は夕闇の中でライトに照らされての演奏になりました。集まった一般客の前で、日頃の練習の成果を披露しました。最後にはアンコールも受け、『風になりたい』で当日の演奏を締めくくりました。集まった皆さんもコロナ禍ではあるけれど、楽しい一時を過ごすことができて満足そうでした。